

2017年 陸運安全協力会パトロールまとめ

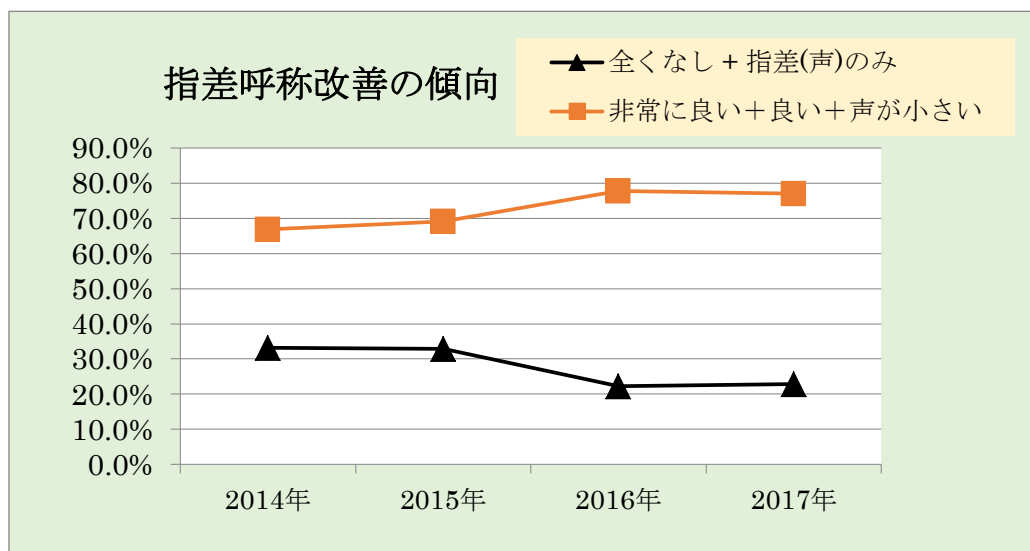
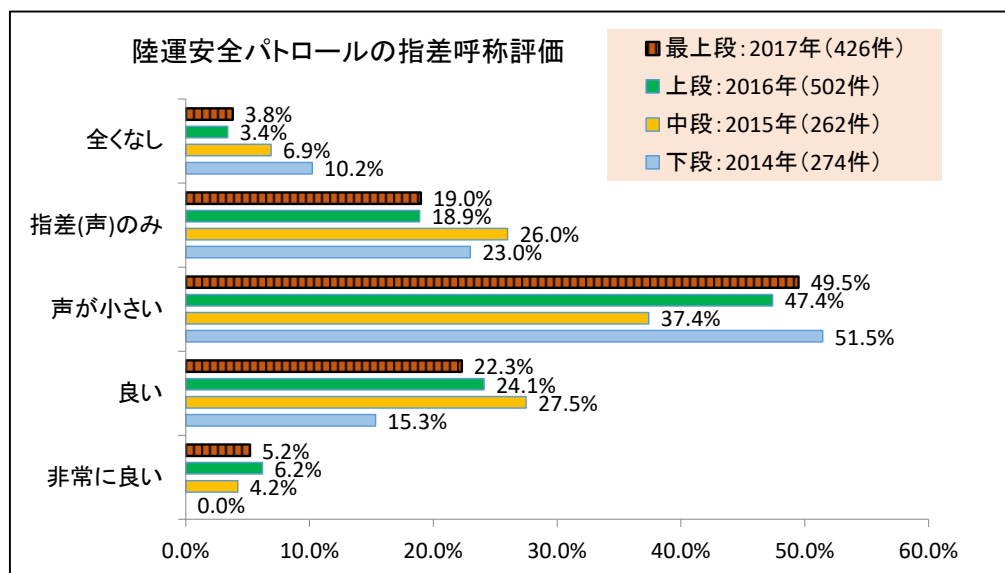
陸運安全協力会

1. 陸運安全パトロールでの指差呼称実践状況

安全パトロールでの指差呼称の実践状況は、以下のとおりです。

2015年から2016年では改善されてきましたが、2017年は頭打ちの状況です。

(2016年からは、昭四殿主催の指差呼称強調週間のパトロール結果も集計件数に含めているのでパトロール件数が多くなっています。)



昭四殿主催の指差呼称強調週間安全パトロール時に合わせて、春 200名、秋は280名の乗務員に注意喚起文書と指差呼称キャンペーンタオルを配布しました。

スウィングステージ収納忘れによる破損事故などは、指差呼称をきちんとやっていれば確実に防げるはずであり、会員各社は、運行管理者を中心に指差呼称の更なる実践に取り組んで下さい。

2. パトロール総合評価

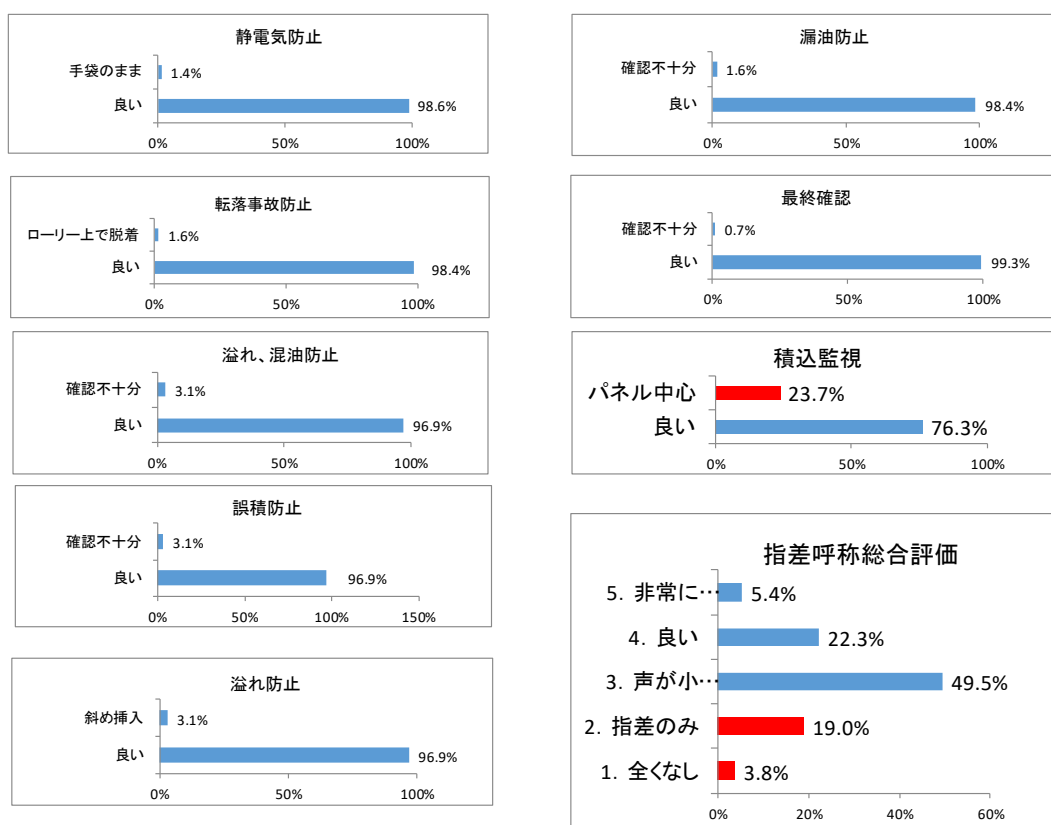
パトロール総合評価の2015年からの推移は、以下のとおりです。2016年から改善が進んだものの、目標の75点には、あと一步届かない状況です。

	2015年	2016年	2017年
パトロール評価点数	70.2	73.1	72.8

個別項目では、積込時の監視で【パネル中心の監視】が、23%もあるため、全体の評価が改善しない原因となっています。

陸運パトロールビデオを改定し、積込み時の監視についても見本となる動作を収録してDVDを会員に配布いたします。（2018年1月予定）

各社とも一層の改善に取り組んで下さい。



3. 2017年のパトロール評価ランキング

2017年1月から12月までの全パトロール件数（台数）は、426件であり、パトロールしたローリーの会社数は、67社でした。

パトロールの回数は、時間帯AM7:30からが23回、AM10:30開始が5回なので、AM7:30-8:30の時間帯で多く割り付けされている会社はパトロール件数が、多くなっています。

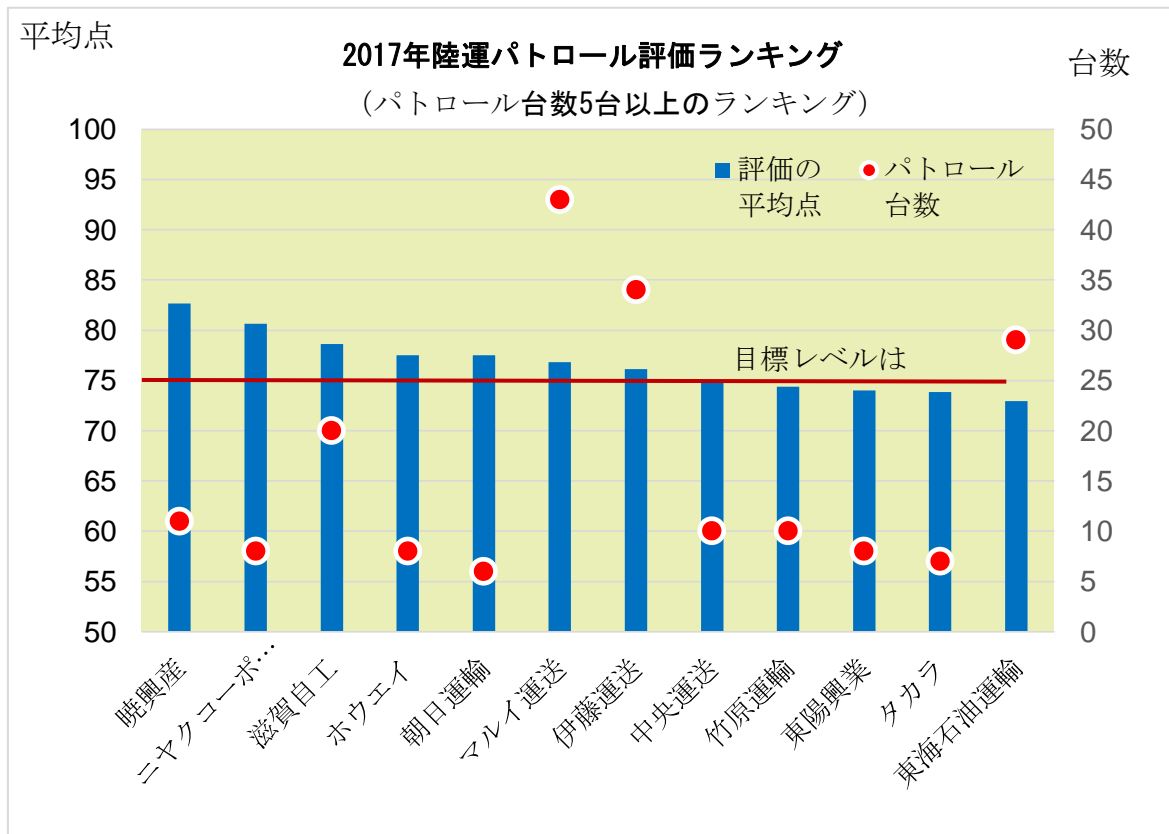
パトロール件数426件の平均点は、72.8点であり、67社の会社別の平均点は、70.7点でした。

同一会社でパトロール件数が5回以上の会社は、28社で平均点は、72.6点でした。

同様に、パトロール件数が5回未満の会社は、39社で平均点は、69.3点でした。

僅かな差ではありますが、入構回数が多い運送会社は、平均点が高い特徴があります。

パトロール件数が5回以上の会社で平均点73以上の会社をリストアップしてグラフで表示すると以下ようになります。



4. 2017年 陸上安全パトロールでの表彰者

2017年の陸上安全パトロールでの表彰推薦数は以下のとおりです。

指差呼称マイスター	指差呼称マイスター推薦は、初回推薦が 11名、2回以降の重複推薦では、5名の乗務員が推薦を受けました。 初回推薦の11名の方は、陸運安全協力会より昭四殿に功績表彰(マイスター表彰)の推薦を行います。
指差呼称優良乗務員	指差呼称優良乗務員推薦は、3名の乗務員が推薦を受けました。

功績表彰(マイスター表彰)への推薦予定の方

会社名	氏名 (敬称略)
(株) 暁興産	伊藤 良文
(株) 暁興産	臼杵 晃
野々口石油	野々口 正人
ホウエイ (株)	柳川政道
東陽興業	菅野芳明
(株) 暁興産	上口 享志
竹原運輸	杉野 芳浩
ホウエイ (株)	瓜生 平吉
三重油送	山田 純
マルイ運送	若井 寿志
(株) 北勢オイルサービス	藤 忠之

5. 2017年 陸上安全パトロール出席状況

2017年12月時点で、過去3年間の陸運安全パトロールへの個人出席回数5回以上の方のランキングは、以下のとおりです。

同一会社で数人が輪番で参加される会社もあるので、会社としてのランキングではありません。

パトロール出席ランキング (2017年12月時点)		
社名 (簡略記載)	名前 (敬称略)	過去3年間の パトロール回数
昭永工業	細井	30
暁興産	加藤	28
ナカイ石油商事	仲井	18
エネックス中部	丸山	17
東海石油運輸	多和田	17
ホリカワ運送	川村	15
中央運送	松島	14
昭永工業	中村	12
エネックス中部	池口	12
二和運輸	伊豆原	12
マルイ運送	坂山	12
南沙産業	松尾	12
近畿石油輸送	加藤	11
伊藤運送	高岡	10
中北運輸	堤	10
共栄陸運	大澤	9
名誠組	鈴村	9
丸中運輸	竹内	9
旭運輸	寺西	8
旭運輸	岩井	8
滋賀自工	曾我	8
ライトトランスポート、(ダイコー)	児島	8
東陽興業	吉田	8
ニイミ運輸	池田	8
安藤運輸	岸田	8
揖斐川工業運輸	龍谿	6
中川運輸	大原	6
三洋輸送	山田	6
大陽運輸	米川	6
三重高速運輸	後藤	6
ビューテックローリー	平田	6

6. 2017年 陸上出荷設備での荷役トラブル

2017年の陸上出荷設備での積込作業におけるトラブルは、以下のとおりです。

操作・作業が基本手順通りに実施できれば防げるトラブルばかりです。積込作業は、基本一人作業ですから、乗務員は作業員であると同時に安全管理の実行者でもあります。

自らが安全管理者になる時、一連の流れの作業から、フェーズを変えて立ち止まって自らの作業内容をチェックする必要があります。

この時有効なのが、指差呼称であり、これが確実に実践できていれば、下記のトラブルは防止できるはずです。

今後も形骸化することなく、安全荷役を継続するために、実効の上がる指差呼称に取り組んでいきましょう。

発生日時	内容
2017年3月27日	LUBローリースイングステージ破損 積込後にローリーが沈み込むことを考慮せずに車両を止めた為、荷役後にスイングステージがローリーのステージとタンクの間に入り込みステージを上げられなくなったのを、車を移動して外そうとしてローリー後部に引っ掛かり、スイングステージが破損。乗務員は3回目の積荷で、一人作業は初めてだった。
2017年3月30日	JETA1積込みでホース接続を確認しないでスタートボタン押した。100L漏油
2017年4月22日	#6ハッチへDKを2KL積み込んだところ#4/6の底弁が開いていたため、#6から#4ハッチへ液移りがあったのでスロップダウンを実施して再積み込みを行い出構しました。
2017年5月17日	会社名：ニヤクコーポレーション蒲郡営業所、運送員：清水良二、車番：豊橋 670 自社による運送員の再教育を実施。再教育が終了するまでは入構禁止。、再教育終了後に昭四へ入構する場合は、陸上操油係員の立会いもと積込作業に問題が無いことを確認。初入構者教育の再受講、上記が完了後、入構禁止解除とする。 顕著な不安全行動、昭四社員の注意を聞かず。
2017年7月20日	灯油アームを昇降レバーで上昇させた際に、オーバーフロー防止弁の上に右手を添えてしまったため、人差し指と中指をアームとの間に挟んでしまった。連絡を受け、陸上操油係にて確認、乗務員は若干血が出た程度で運転や作業に特別な支障がないことを確認、本人も運送会社と確認了解されたことから、積込作業を再開させ出構させた。 怪我の状態(確認結果)：右手の人差し指と中指の擦り傷。腫れも無く骨折なし。血豆程度(運行管理者：山本氏より確認)。病院には行っていない。⇒ 第三者人身のニアミスと判断しています。
2017年7月27日	P-24にて1番/2番ハッチ積込み後、3番ハッチ積込時、オーバーフロー。その後、5番/6番ハッチに積込みするも性状に積み込まれたことを確認。原因は残油と判断。
2017年11月8日	RGを積込み時に、7番ハッチに少しローディングアームが届かなかった為、車両を移動させたがローディングアームを収納せず行った危険作業。
2017年11月8日	P-32にて積込時、1番ハッチにアームが届かないためローリーを移動させようとしたがスイングステージを上げ忘れて破損させた。
2017年11月11日	潤滑油ローリーが積場へ横付け時HVI-60流量計(FS-8410)に接触破損 11月11日(土)、潤滑油ローリー(HVI-60)が積場に横付けする際に後進で下がってきたところ、下がりすぎて左リアバンパーがメーターに接触し破損するという事例が発生。積込み時にメーターが回らないことからメーター破損事象が発覚しましたが、乗務員は気づいていなかったということでした。 メーターは予備品に取替え、補修は運送会社の保険で実施。
2017年11月16日	白油#25 スウィングステージ上げ忘れて発進し破損
2017年11月16日	白油#25 スウィングステージ上げ忘れて発進し破損
2017年12月1日	JET-A1積込み作業時、4KLハッチには2KLを2回積込むが1回目の積込み札を反転するのを忘れ3回目の2KLをスタートさせてオーバーフロー。

以上